

2024年度4月から9月 園児の健康の様子



1. 感染症の状況

感染症発生状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
新型コロナウイルス	1	0	0	0	1	0	2
インフルエンザ	1	0	0	0	0	0	1
感染性胃腸炎	7	2	2	4	3	0	18
溶連菌感染症	3	4	6	7	4	1	25
おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）	0	0	0	0	0	0	0
みずぼうそう（水痘）	0	0	0	0	0	0	0
リンゴ病（伝染性紅斑）	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	0	0	0	16	22	38	76
ヘルパンギーナ	0	0	0	7	0	2	9
プール熱（咽頭結膜熱）	0	0	1	0	0	0	1
はやり目（流行性角結膜炎）	0	0	2	0	0	0	2
その他のアデノウイルス	0	1	1	0	0	0	2
突発性発疹	1	1	0	0	0	0	2
とびひ	0	0	0	1	1	2	4
アタマジラミ	0	0	0	0	0	1	1
RSウイルス	4	1	0	0	1	0	6
マイコプラズマ感染症	1	0	0	1	0	0	2
パラインフルエンザ	0	0	1	0	1	0	2

●園医渡辺医師より：健康な子どもは感染症に罹りながら免疫を獲得しますが、重い後遺症や命の危険がある、高熱で集団感染を起こしやすいものは、ワクチン接種で子ども達を守る事も大切です。『MR（麻疹（はしか）・風疹）』ワクチンは製造業者の自主回収等で流通不安定でしたが、定期接種分は回復してきています。1歳と年長の学年で忘れずに接種しましょう。『インフルエンザ』のワクチン接種も始まります。今年から、2歳～19歳未満の適応で、鼻から1回接種で済むワクチンもできました。今年手足口病や溶連菌など、様々な感染症の流行がみられます。病気に負けない体を作るためにはやはり、基本の生活リズムに気をつけ、食事や睡眠などをしっかりと、日頃から自律神経がうまく働く体づくりをすることが大切です。

2. けがの対応



※保育中に起きたけがのうち、医療機関を受診したけがの状況です。

医療を必要とするけが	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年度	1	1	2	1	0	1
2020年度	1	0	0	0	1	1
2021年度	1	2	0	0	0	3
2022年度	2	1	2	0	0	1
2023年度	2	0	0	0	2	1
2024年度	1	0	0	1	0	0
内容	園からの受診					
	保護者の受診	3歳：園庭サーキット遊びで転倒、あご打撲裂傷、ステリテープ固定（皮膚科）			3歳：保育室で椅子に腹ばいに乗り前方に転倒、口の打撲、上前歯ワイヤ固定、マウスピース使用（歯科）	

●保育中直ちに受診が必要な、大きな事故の発生はありません。園周辺の公園や遊歩道では、送迎時に自転車と園児の接触・転倒による受診が必要なけが、ご家庭内でも首を痛める・傷を縫う必要がある等けがの報告があります。9月のほけんだよりと一緒に、こども家庭庁の『事故防止ハンドブック』を配信しています。こどもの発達段階別に起こりやすい事故や、応急手当の方法などを知り、重大事故を防いでいきましょう。